

活用したい遺伝資源(1)

～ワサビ「真妻」～

ワサビの主要品種「真妻」は、日高郡印南町真妻地区在来の品種です。しかし、現在の真妻地区における沢ワサビの栽培面積は、最盛期の半分以下の、約0.5haです。その一方で、「真妻」は静岡県伊豆地方で広く普及し、静岡ワサビの代表的な品種となっています。

「真妻」の主な特徴は葉柄が赤紫色をしているところで、大きな根茎は、すりおろすと、きめが細かくねばりがあり、風味も優れています。また、その特性から育種材料に用いられ、静岡県では、いくつかの系統が育成されています。

しかし、「真妻」は、年々次第に形質が多様化し、本来の特徴が失われつつあります。ま

「真妻」の特徴

葉柄の色：赤紫

長 所：根茎の肥大がよい

きめが細かくねばりがある

風味が優れている

短 所：栽培期間が長い

分けつが少ない

軟腐病に弱い

栽培適地：夏涼しくて冬暖かい

湧き水が豊富な上流

た、真妻地区においても、他の品種との交雑や、ウィルス感染による生育不良が問題になっています。

このため、本来の特徴をもつ、真妻地区在来「真妻」の、遺伝資源としての価値が見直されるようになりました。そして、この貴重な在来「真妻」を維持し、産地を復活させようという気運が高まっています。

そこで、現在、暖地園芸センターでは、真妻地区在来「真妻」の維持・増殖およびウィルスフリー化を図るため、組織培養の研究を行っています。

今後、在来「真妻」と産地の復活のため、組織培養による増殖技術の早期確立が望まれます。また、在来「真妻」は育種素材としても、さらなる可能性を秘めているのではないのでしょうか。

(育種部 山本 彩加)



真妻地区におけるワサビ栽培

編集後記

新しい世紀を迎えました。

暖地園芸センターでは、地域の皆様方に役立つ成果を引き続き発表できるよう、これからも試験研究に励みたいと思います。

よろしくお願ひします。

(Y. M)

和歌山県農林水産総合技術センター
暖地園芸センターニュース No.18

平成13年 1月20日発行

編集・発行 和歌山県農林水産総合技術センター
暖地園芸センター

〒644-0024 和歌山県御坊市塩屋町南塩屋724

TEL 0738-23-4005

FAX 0738-22-6903

(この印刷物は再生紙を使用しております)